HITACHI

企業向けネットワーク LAN モデル
（Cisco Nexus 9300/3500）

ユーザーズガイド

マニュアルはよく読み、保管してください。
操作をおこなう前に安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
このマニュアルはいつでも参照できるよう、手近なところに保管してください。

〈お客様各位〉

初めにお読みください！

この度は、企業向けネットワーク LAN モデル（Cisco Nexus 93180YC-FX/FX3 / Cisco Nexus 3524P-XL/3548P-XL） (以下、企業向けネットワーク LAN モデルと略します)をご購入いただき、まことにありがとうございます。
このマニュアルは企業向けネットワーク LAN モデルのご使用にあたって、トラブルを避けるために、また安全にお使いいただくために注意事項を記述しています。よくお読みになった後は、本マニュアルを大切に保管し有効にご利用ください。

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断わりします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品の信頼性について

ご購入いただきました企業向けネットワーク LAN モデルは、一般事務用を意図して設計・製作されています。
生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。
このような使用に対する万一の事故に対し、当社は一切責任を負いません。

一般事務用システム装置が不適当な、高信頼性を必要とする用途例
・化学プラント制御　・医療機器制御　・緊急連絡制御　等

規制・対策などについて

■電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

■電源の瞬時電圧低下対策について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

■高調波電流規格：JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性―第 3-2 部：限度値―高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

■雑音耐力について

この装置の外来電磁波に対する耐力は、国際電気標準会議規格 IEC61000-4-3「放射無線周波電磁界イミュニティ試験」のレベル 2 に相当する規定に合致していることを確認しております。
なお、レベル 2 とは、対象となる装置に近づけないで使用されている低出力の携帯型トランシーバから受ける程度の電磁環境です。

■輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明の場合は当社担当営業にお問い合わせください。

なお、この装置に付属する周辺機器やプレインストールされているソフトウェアも同じ扱いになります。

■装置の廃棄について

事業者が廃棄する場合、廃棄物管理表（マニフェスト）の発行が義務づけられています。
詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は（社）全国産業廃棄物連合会に用意されています。
個人が廃棄する場合、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

登録商標・商標について

本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。
Cisco、Cisco Nexus は、米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. およびその関連会社の商標です。

版権について

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部
または全部を、無断で転載することは禁じられています。

Copyright© Hitachi, Ltd. 2025. All rights reserved.

安全にお使いいただくために

■安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分に理解してください。

・本製品の操作は、このマニュアル内の指示、手順にしたがっておこなってください。

・本製品やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。

これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

■シンボルについて

安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。

⚠ これは安全警告記号です。人への危害を引き起こす隠れた危険に注意を喚起するために用いられます。起こりうる傷害または死を回避するために、このシンボルの後に続く安全に関するメッセージにしたがってください。

⚠ 警告　これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある危険の存在を示すのに用います。

⚠ 注意　これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある危険の存在を示すのに用います。

通知　これは、人身障害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある危険の存在を示すのに用いられます。

本製品を活用するためのアドバイスを示すのに「補足」という見出し語を用いてあらわしています。

■操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作はおこなわないでください。

本製品について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

■自分自身でもご注意を

本製品やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。

それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。

操作にあたっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

⚠ 注意	この機器は子どもがいる可能性のある場所での使用には適していません。

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 警告

異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、電源を切り、本製品のすべての電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると感電したり、火災の原因になります。

また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

修理・改造・分解

■自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。特に電源内部は高電圧が数多くあり、万一さわると危険です。

挿抜できる構造のユニットについても抜かないでください。

■けがの危険を避けるもしくは減少するため、製品が不規則な環境状況にさらされた場合や製品が不当に扱われた場合、もしくは製品の一部でも破損している場合は、この製品を使用しないでください。専門知識のあるサービス担当者にご相談ください。製品を自分で修理することは絶対に避けてください。

本製品内部への異物の混入

通気口などから、内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物を入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

ケースカバーの取り外し

■ケースカバーは取り外さないでください。

■スイッチ内部にはユーザが保守できる部品はありません。筐体を開けないでください。

電源コンセントの扱い

■電源コンセントは接地形 2 極差込コンセントをご使用ください。そのほかのコンセントを使用すると感電や火災の原因になります。

■コンセントの接地極は、感電防止のために、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと、電源の故障時などに感電するおそれがあります。

■コンセントは、活性導線（L:Line）、接地導線（N:Neutral）、接地（G:Ground）からなります。ご使用前に、接地導線と接地が同電位であることをご確認ください。

安全にお使いいただくために(続き)

⚠警告

電源コードの扱い

電源コードは必ず付属のもののみ使用し、次のことに注意してお取り扱いください。
取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したり、ショートや一部断線で加熱して、感電や火災の原因になります。

・物を載せない
・引っ張らない
・押し付けない
・折り曲げない
・加工しない
・熱器具のそばで使わない
・束ねない

本製品上に物を置く

■花ビン、植木鉢などの水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると感電や発煙、火災の原因になります。

■ほかの装置の上にシャーシを積み重ねないでください。シャーシが落下すると、大けがをしたり、装置が損傷したりすることがあります。

可燃性の液体やガスの近くでの使用

マニキュア、ペディキュアや除光液など可燃性の液体やガスは、本製品の近くで使わないでください。本製品の中に入って引火すると火災の原因になります。

電源プラグの抜き差し

■電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持っておこなってください。電源コードを引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。

■長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
使用していないときにも通電されるため、万一、部品破損時には火災の原因になります。

■電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手でおこなってください。濡れた手でおこなうと感電の原因になります。

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 警告

電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

■電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。

■電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。
付着している場合は、乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。

■グラグラしないコンセントをご使用ください。

落下などによる衝撃

落下させたりぶつけるなど、衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、
そのまま使用すると感電や火災の原因になります。

たこ足配線

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。
コードやコンセントが過熱し、火災の原因になります。

湿気やほこりの多い場所での使用

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い
地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。
電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。
結露した状態で使用すると発煙、発火や感電の原因になります。使用する場所で、
数時間そのまま放置してからご使用ください。

周辺機器の増設や接続

マニュアルで使用できることが明記された周辺機器・ケーブルをご使用ください。
それ以外のものを使用すると、接続仕様の違いにより周辺機器や本製品の故障、発
煙、発火や火災の原因となります。

電源モジュールについて

電源モジュールは、高電圧部分が内部にあるためカバーを開けないでください。
感電や本製品の故障の原因になります。

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 警告

電源プラグへの接触について

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください。

システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しをおこなったりしないでください。感電の原因になります。

電源コードについて

添付品の電源コードは交流 100V 用です。それ以外の電圧では使用しないでください。感電や火災の原因になります。交流 200V で本製品を使用する場合は本製品専用の 200V 用電源コードが必要です。

同梱されている電源コードは本製品専用の電源コードです。本製品以外の電気機器では使用できません。ほかの機器で使用すると火災・感電の原因になります。

AC 電源を使用する場合の遮断器

この製品は設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。保護装置の定格が 15A を超えないようにしてください。

(ステートメント 1005)(対象製品：Cisco Nexus9300）

作業時について

■感電事故を防ぐために、すべての電源コードを接続解除してから、作業を開始してください。

■電力系統に接続された装置で作業する場合は、事前に、指輪、ネックレス、腕時計などの装身具を外してください。金属は電源やアースに接触すると、過熱して重度のやけどを引き起こしたり、金属類が端子に焼き付いたりすることがあります。

機器の設置について

■この装置は、立ち入りが制限された場所への設置を前提としています。立ち入り制限区域には、熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者しか入れません。

（ステートメント 1017）

■この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人がおこなってください。

（ステートメント 1030）

機器の処分、交換について

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制にしたがっておこなってください。

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 警告

シャーシのアース接続

■この装置は、アースさせる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかはっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。
（ステートメント 1024）

■感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。
（ステートメント 1046）

ラックの安定性

ラックの安定装置を取り付けるか、ラックを床にボルトで固定してから、設置または保守をおこなう必要があります。ラックを安定させないと、身体に傷害を負う可能性があります。
(ステートメント 1048)

レーザー放射について

接続されていない光ファイバケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。
（ステートメント 1051）

ファンの警告

ファンアセンブリをシャーシから外すときにファンがまだ回転している場合があります。ファンアセンブリの筐体の隙間に指やドライバなどを近づけないでください。
（ステートメント 263）

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 注意

運搬について

本製品の重量は約 8 kg(標準構成時)を超える物があります。移動する場合などは取り扱いに注意してください。腕や腰を痛める原因になることがあります。

移動したり持ち上げたりする場合は、むりをせず 2 人以上で扱うなどしてください。

けがや故障の原因になります。

接続端子への接触

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。

また、金属片のある場所に置かないでください。感電の原因になります。

不安定な場所での使用

傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障するおそれがあります。

また、本製品を机上でご使用になる場合は、ほかの装置の上に本製品を置く、または本製品の上にほかの重量物を置かないでください。転倒によりけがや製品の故障原因になります。

目的以外の使用

踏み台やブックエンドなど、本製品本来の目的用途以外に使用しないでください。

壊れたり倒れたりし、けがや故障の原因になります。

信号ケーブルについて

ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。足をひっかけると

けがや接続機器の故障の原因になります。

地震対策について

地震などによる振動で本製品の移動、転倒あるいは窓などからの飛び出しが発生し、重大な事故へと発展するおそれがあります。これを防ぐため、地震・振動対策を保守会社や専門業者にご相談いただき、実施してください。

ラックマウント時の増設や交換

不慣れな作業をおこなうことにより、けがや本製品の故障の原因になります。本製品をラックマウントする場合やラックから取り外す作業はすべて保守員がおこないます。

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 注意

ファンモジュール

動作中にモジュールを交換する場合は、交換用ファン モジュールのエアーフロー方向が正しい、つまりシャーシ内のほかのモジュールと同じエアーフロー方向であることを確認してください。また、エアーフロー方向がコールドアイルから吸気し、ホットアイルへ排気することを確認します。そうでない場合、スイッチが過熱しシャットダウンする場合があります。

シャーシ内のすべてのモジュールのエアーフロー方向を変更する場合は、スイッチをシャットダウンしてから、すべてのファンおよび電源モジュールをほかのエアーフロー方向を使用するモジュールに交換する必要があります。動作中はすべてのモジュールでエアーフロー方向が同じである必要があります。

落雷の影響について

配線が推奨距離を超える場合、または配線が建物間にまたがる場合は、近辺で発生する落雷の影響に十分に注意してください。雷などの高エネルギー現象で発生する電磁パルス（EMP）により、電子スイッチを破壊するほどのエネルギーが非シールド導体に発生することがあります。このような問題が発生した場合は、電力サージ抑制やシールドの専門家に相談してください。

UPS について

鉄共振テクノロジーを使用する UPS タイプは使用しないでください。このタイプの UPS は、スイッチに使用すると、データトラフィックパターンの変化によって入力電流が大きく変動し、動作が不安定になることがあります。

AC 電源を使用する場合の遮断器

入力電力の損失を防ぐには、スイッチに電力を供給する回路上の合計最大負荷が、配線とブレーカーの定格電流の範囲内となるようにしてください。

シャーシの開梱と点検

ファンや電源モジュールなどのスイッチコンポーネントを扱うときは、アース接続された静電気防止ストラップを着用し、持ち運び用の端部のみをつかむようにします。静電気防止用ストラップをアース接続するには、ストラップをアース線、接地済みシャーシ、または接地済みラックに確実に取り付けます。

安全にお使いいただくために(続き)

通知

屋外での使用

屋外では使用しないでください。故障の原因になります。

本製品の扱いについて

本製品は高密度で部品が実装されているため、不慣れな作業をおこなうことにより、けがをしたり本製品の故障の原因になります。本製品の交換などの必要がある場合はお買い求め先にご連絡いただくか、保守員をお呼びください。

本製品の廃棄

■事業者が廃棄する場合

本製品を廃棄するときには廃棄物管理表（マニュフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。

廃棄物管理表は、（社）全国産業廃棄物連合会に用意されています。

■個人が廃棄する場合

本製品を廃棄するときはお買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

バックアップについて

本製品のコンフィグレーションデータなどの重要な内容は、必ず補助記憶装置や保存用メディア等にバックアップを取ってください。

本製品が壊れると、データなどがすべてなくなってしまうおそれがあります。

装置通気孔・付属ダクト

通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、故障の原因になります。

信号ケーブルについて

ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。足をひっかけるとケーブルが抜けて大切なデータが失われるおそれがあります。

また、ケーブルの上に重量物を載せたり、熱器具のそばに配線しないでください。

ケーブル被覆が破れ、通信障害の原因になります。

ねずみ対策について

ねずみなどによるコンピュータシステムの被害として次のものがあります。

■ケーブル類の被覆の破損、断線

■機器内部の部品の腐食、接続不良、汚損

これを防ぐため、ねずみ対策を専門業者にご相談いただき、実施してください。

安全にお使いいただくために(続き)

通知

電源操作について

■電源操作は、決められた手順にしたがっておこなってください。

決められた手順に従わずに電源を入れたり切ったりすると、本製品の故障の原因になります。

■電源を切る前に、接続されている装置がすべて停止していることを確認してください。動作中に電源を切ると、装置の故障やデータの消失のおそれがあります。

■シャットダウンまたはリブートまたは電源を切る場合で、それ以前にコンフィグレーション情報を変更した場合は、必ずコンフィグレーションをセーブしてから、電源を切ってください。コンフィグレーションセーブをおこなわないと変更部分が失われます。

静電気防止対策について

本製品の周辺で作業をする際は、安全のため、必ず抵抗値 1 メガΩの静電防止リストバンドを付けて作業してください。静電防止リストバンドのクリップは、通気孔に取り付けないよう注意してください。

静電防止リストバンドを付けずに作業をおこなうと、製品を壊す場合があります。

騒音について

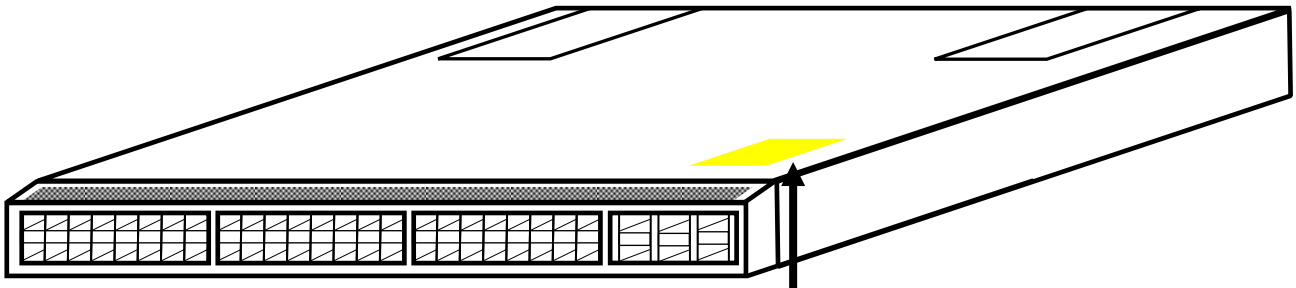
本装置は、装置内部温度によってファンの回転数を制御しており、高温環境下での使用、高負荷環境が継続した場合、本装置の一部が故障した場合、および装置起動時は、一時的にファンの騒音が大きくなることがあります。そのため、ファンの騒音が問題になる場合は、あらかじめ専用室への設置など、お客様環境に応じた騒音対策を実施してください。

安全にお使いいただくために(続き)

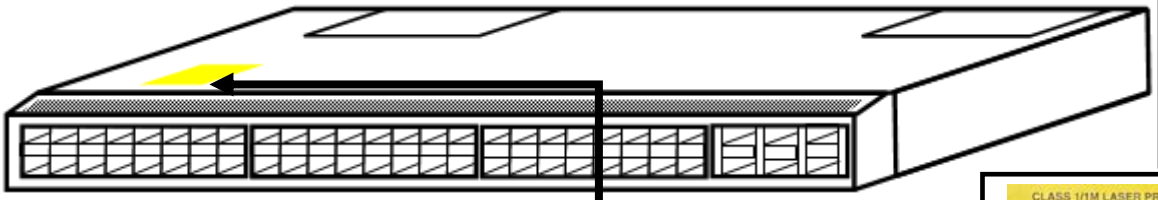
■警告ラベルについて(Cisco Nexus9300 シリーズ)

警告ラベルは装置の次に示す力所に貼り付けられています

(1) Cisco Nexus 93180YC-FX



(2) Cisco Nexus 93180YC-FX3



□警告ラベルの日本語補足

・CLASS 1/1M LASER PRODUCT

クラス 1/1M レーザー製品

・Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040. 11

except for conformance with IEC 60825-1 Ed. 3.,

as described in Laser Notice No, 56, dated May 8, 2019.

IEC 60825-1 Ed. 3 への準拠を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠しています。

2019 年 5 月 8 日付けのレーザー通知第 56 号に記載されています。

・ATTENTION :

Observe precautions for handling Electrostatic Sensitive Devices

注意：静電に敏感なデバイスを取り扱う際の注意事項を守ってください

・WARNING/ATTENTION

To reduce the risk of electric shock, disconnect all powercords before servicing.

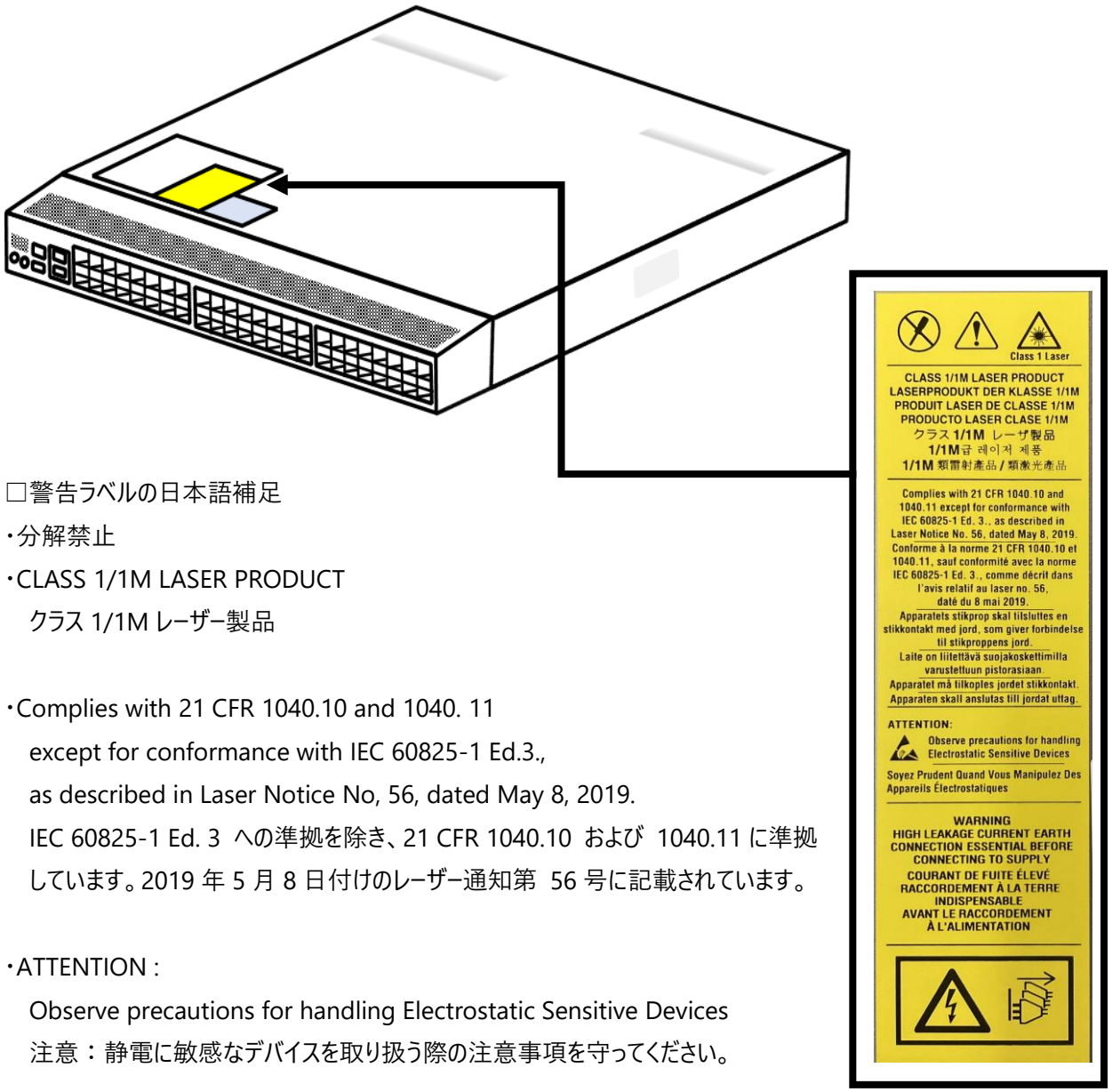
感電の危険を減らすために、整備する前にすべての電源コードを外してください。

安全にお使いいただくために(続き)

■警告ラベルについて(Cisco Nexus3500 シリーズ)

警告ラベルは装置の次に示す力所に貼り付けられています

(1)Cisco Nexus 3524P-XL/3548P-XL



□警告ラベルの日本語補足

・分解禁止

・CLASS 1/1M LASER PRODUCT

クラス 1/1M レーザー製品

・Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040. 11

except for conformance with IEC 60825-1 Ed.3.,

as described in Laser Notice No, 56, dated May 8, 2019.

IEC 60825-1 Ed. 3 への準拠を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠しています。2019 年 5 月 8 日付けのレーザー通知第 56 号に記載されています。

・ATTENTION :

Observe precautions for handling Electrostatic Sensitive Devices

注意：静電に敏感なデバイスを取り扱う際の注意事項を守ってください。

・WARNING

HIGH LEAKAGE CURRENT EARTH CONNECTION ESSENTIAL BEFORE CONNECTING TO SUPPLY

電源に接続する前に高漏洩電流のアース接続が必要です。

・感電危険

感電の危険を減らすために、整備する前にすべての電源コードを外してください。

目次

重要なお知らせ 1
本製品の信頼性について 1
規制・対策などについて 2
登録商標・商標について 3
版権について 3
安全にお使いいただくために 4
１　企業向けネットワーク LAN モデルのマニュアルについて 18
２　注意事項 20
お問い合わせ先 26

補足 より良くお使いいただくために

補足

ネットワークケーブルの接続について

■本製品とシステム装置やハブ等のネットワーク機器を接続する際には、
指定事項、制限事項および注意事項を確認の上ご使用ください。
指定事項、制限事項および注意事項を考慮しなかった場合、ネットワーク環境全体の伝送能力に問題が生じるおそれがあります。

補足

コンフィグレーションのバックアップについて

コンフィグレーションのバックアップは必ずお取りください。バックアップがないと保守交換時にコンフィグレーションのリストアができません。

補足

冗長化電源について

本製品の電源を冗長化した場合、分電盤故障の際でも冗長性が保てるように供給元毎に分電盤を分けることを推奨します。

補足

光モジュールの取り扱いについて

光モジュールの光ファイバケーブル差込口に、ほこりやほかの汚れが付着しないように注意してください。ほこりが付着していると、正常に動作しない可能性があります。

1　企業向けネットワーク LAN モデルのマニュアルについて

企業向けネットワーク LAN モデルのマニュアルはシスコシステムズ合同会社（以下、シスコ社）ホームページに掲載されています。詳細は各マニュアルを参照してください。

（1）データシート

表 1-1 データシート

No	スイッチ	データシート URL
1	Cisco Nexus 93180YC-FX	Cisco Nexus 93180YC-FX スイッチ のデータシート https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/collateral/switches/nexus-9000-series-switches/datasheet-c78-738259.html
2	Cisco Nexus 93180YC-FX3	Cisco Nexus 93180YC-FX3 スイッチ のデータシート https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/dcn/hw/nx-os/nexus9000/93180yc-fx3/cisco-nexus-93180yc-fx3-nx-os-mode-switch-hardware-installation-guide/m_overview1.html
3	Cisco Nexus 3524P-XL/3548P-XL	Cisco Nexus 3524P-XL/3548P-XL スイッチ のデータシート https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/collateral/switches/nexus-3548-switch/data_sheet_c78-707001.html

（2）ハードウェア設置ガイド

表 1-2 ハードウェア設置ガイド

No	スイッチ	データシート URL
1	Cisco Nexus 93180YC-FX	Cisco Nexus 93180YC-FX スイッチ（NX-OS モード）ハードウェア設置ガイド https://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/switches/datacenter/nexus9000/hw/n93180ycfx_hig/guide/b_n93180ycFX_nxos_hardware_installation_guide.html
2	Cisco Nexus 93180YC-FX3	Cisco Nexus 93180YC-FX3 NX-OS モード スイッチ ハードウェア設置ガイド https://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/dcn/hw/nx-os/nexus9000/93180yc-fx3/cisco-nexus-93180yc-fx3-nx-os-mode-switch-hardware-installation-guide.html
3	Cisco Nexus 3524P-XL/3548P-XL	Cisco Nexus 3524P-XL/3548P-XL スイッチ のハードウェア設置ガイド https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/datacenter/nexus3548/hw/installation/guide/b_n3500_hardware_install_guide.html

（3）形名一覧

表 1-3 にバンドル形名一覧を、表 1-4 にオプション形名一覧を示します。

ハードウェアの構成に関する詳細は構成ガイドを参照ください。

表 1-3 Cisco Nexus シリーズ バンドル形名一覧

No	バンドル形名	品名	備考
1	HN-CN93180YCF0	【構成限定】N9K-C93180YC-FX、1/10/25G X 48、40/100G QSFP28 X 6、1U スイッチ本体、NX-OS、電源冗長、ポート側排気	2024/06/28 販売終了
2	HN-CN93180YCF30	【構成限定】N9K-C93180YC-FX3、1/10/25G X 48、40/100G QSFP28 X 6、1U スイッチ本体、NX-OS、電源冗長、ポート側排気	
3	HN-CN3524PXL0	【構成限定】N3K-C3524P-XL、1G/10G SFP+ X 24、1U スイッチ本体、NX-OS、電源冗長、ポート側排気	
4	HN-CN3548PXL0	【構成限定】N3K-C3548P-XL、1G/10G SFP+ X 48、1U スイッチ本体、NX-OS、電源冗長、ポート側排気	

表 1-4 オプション形名一覧

No	バンドル形名	品名	備考
1	HN-FCCB-C15CBNJP	【構成限定】CAB-C15-CBN-JP=、C9200/C9300 用電源ケーブル (250VAC)	*1
2	HN-FCGLC-SXMMD	【構成限定】GLC-SX-MMD=,SFP 1000BASE-SX	
3	HN-FCGLC-LHSMD	【構成限定】GLC-LH-SMD=,SFP 1000BASE-LX/LH	
4	HN-FCGLC-TE	【構成限定】GLC-TE=,SFP 1000BASE-T	
5	HN-FCSFP-10GSR	【構成限定】SFP-10G-SR=、SFP 10GBASE-SR	
6	HN-FCSFP-10GLR	【構成限定】SFP-10G-LR=、SFP 10GBASE-LR	
7	HN-FCSFP-25GSRS	【構成限定】SFP-25G-SR-S=、SFP 25GBASE-SR	
8	HN-FCQSP-100SR4S	【構成限定】QSFP-100G-SR4-S=、QSFP 100GBASE-SR4	
9	HN-FCSFP-10GCU1	【構成限定】SFP-H10GB-CU1M=、SFP 10GBASE-CU 1m ケーブル	
10	HN-FCSFP-10GCU3	【構成限定】SFP-H10GB-CU3M=、SFP 10GBASE-CU 3m ケーブル	
11	HN-FCSFP-10GCU5	【構成限定】SFP-H10GB-CU5M=、SFP 10GBASE-CU 5m ケーブル	
12	HN-FCSFP-25GCU1	【構成限定】SFP-H25G-CU1M=、SFP 25GBASE-CR1 1m ケーブル	
13	HN-FCSFP-25GCU3	【構成限定】SFP-H25G-CU3M=、SFP 25GBASE-CR1 3m ケーブル	
14	HN-FCSFP-25GCU5	【構成限定】SFP-H25G-CU5M=、SFP 25GBASE-CR1 5m ケーブル	
15	HN-FCQSP-40GCU1	【構成限定】QSFP-H40G-CU1M=、QSFP 40GBASE-CR4 1m ケーブル	
16	HN-FCQSP-40GCU3	【構成限定】QSFP-H40G-CU3M=、QSFP 40GBASE-CR4 3m ケーブル	
17	HN-FCQSP-40GCU5	【構成限定】QSFP-H40G-CU5M=、QSFP 40GBASE-CR4 5m ケーブル	
18	HN-FCQSP-100CU1	【構成限定】QSFP-100G-CU1M=、QSFP 100GBASE-CR4 1m ケーブル	
19	HN-FCQSP-100CU3	【構成限定】QSFP-100G-CU3M=、QSFP 100GBASE-CR4 3m ケーブル	
20	HN-FCQSP-100CU5	【構成限定】QSFP-100G-CU5M=、QSFP 100GBASE-CR4 5m ケーブル	
21	HN-FCN3548-24UPG	【構成限定】L-N3548-24P-UPG=、Nexus3524 アップグレードライセンス	*2

*1：Cisco Nexus9300/3500 用

*2：Cisco Nexus3500 シリーズの 24 ポート製品（HN-CN3524PXLx）を 48 ポートまで 利用可能にする アップグレードライセンス。

2　注意事項

（１）本製品をご利用いただくにあたって『General Terms』に同意したものと見なされます。

【General Terms】

https://www.cisco.com/c/dam/en_us/about/doing_business/legal/cisco-general-terms-translations/Cisco_General_Terms-Japanese.pdf

（２）企業向けネットワークLANモデルの設定が完了するまでは、LANに接続しないでください。ネットワークに悪影響を及ぼす場合があります。

（３）コンフィグレーションのバックアップは必ずお取りください。バックアップがないと保守交換時にコンフィグレーションのリストアができません。

（４）販売時および装置使用時の制限事項の考え方

① 本製品は、ネットワーク設計(トポロジ、機能、設定値)を限定し機能を制限したネットワーク設計・検証済みモデルとして提供しています。このため、「機器」＋「設定」＋「搬入」＋「保守」＋「サポート」をセット販売とし単品での販売はできません。

② 次の利用が見込まれる場合は、従来の SI/NI を含めたネットワーク設計、導入、保守が必要となりますので、販売支援の部門へご相談をお願いします。

A) ネットワーク設計(トポロジ、機能、設定値)を限定しているため、限定したネットワーク設計と異なる設計で使用した場合はサポート対象外です。

B) 既設ネットワークの一部に本製品を構成する単品を組み込むことはできません。また、他ネットワークシステムとの接続の場合も本製品で想定されていないネットワーク設計の変更はできません。

C) サポートサービスは限定したネットワーク設計範囲内を対象としているため、SI/NI が必要なミッションクリティカルなシステムのネットワークには適しません。

（５）機能の制限事項の考え方

「表 2-1 サポート対象機能一覧」で○としている機能をサポート対象とします。×としている機能はサポート対象外となります。また、機能一覧にない機能もサポート対象外となりますのでご注意ください。

表 2-1 サポート対象機能一覧

No	機能種別	機能名称	Cisco Nexus9300 シリーズ	Cisco Nexus3500 シリーズ
			必要ライセンスなし	必要ライセンスなし
1	インタフェース	10M(10BASE-T)	–	–
2		100M(100BASE-TX)	○	○
3		1G(1000BASE-T/SX/LX)	○	○
4		10G(10GBASE-T/CU/SR/LR)	○	○
5		25G(25GBASE-CR1/SR)	○	–

No	機能種別	機能名称	Cisco Nexus9300 シリーズ	Cisco Nexus3500 シリーズ
			必要ライセンスなし	必要ライセンスなし
6		40G(40GBASE-CR4)	○	–
7		100G(100GBASE-CR4/SR4)	○	–
8		オートネゴシエーション	○	○
9		Speed/Duplex 固定	○	○
10		PoE	–	–
11		Description	○	○
12		EEE	×	×
13		ジャンボフレーム	○	○
14	論理	VLAN	○	○
15		STP	×	×
16		VTP	×	×
17		IPv4	○	○
18		IPv6	×	×
19	ルーティング	スタティック	○	○
20		EIGRP	×	×
21		OSPF	×	×
22		BGP	×	×
23		PIM-SM	×	×
24		PIM-DM	×	×
25		IGMP スヌーピング	○	○
26		VRF	×	×
27		PBR	×	×
28	信頼性	StackWise	–	–
29		vPC	○	○
30		HSRP	○	○
31		VRRP	○	○
32		電源冗長	○	○
33		リンクアグリゲーション(LACP/static)	○	○
34		UDLD	○	○
35		Loop Detection Guard	–	–
36		ストームコントロール	○	○
37		errdisable 自動回復	○	○
38		FlexLink+	–	–
39	セキュリティ	ACL	○	○
40		DHCP スヌーピング	○	○

No	機能種別	機能名称	Cisco Nexus9300 シリーズ	Cisco Nexus3500 シリーズ
			必要ライセンスなし	必要ライセンスなし
41	ネットワーク機能	DHCP リレー	○	○
42		QoS(優先制御、シェーピング)	○	○
43		CDP/LLDP	○	○
44		SPAN	○	○
45	監視・管理	SNMP	○	○
46		Syslog	○	○
47		NTP	○	○
48		SSH	○	○
49		Telnet	○	○
50		ログインバナー	○	○
51		NetFlow	×	×
52		DNS 参照	○	○

【凡例】

○：サポート対象の機能

×：サポート対象外の機能　（本表に記載のない機能についてもサポート対象外）

－：機種として未サポートの機能

（６）スイッチ台数制限の考え方

スイッチ台数の制限にある最大数をサポートします。最大数を超えた場合はサポート対象外となりますのでご注意ください。

表 2-2 スイッチ台数の制限（最大数）

No	モデル	コアスイッチ	フロアスイッチ	エッジスイッチ
1	中規模	2 台	30 台	600 台

（７）ラック搭載のネジについて

ラック搭載のネジはお客様準備となります。

Cisco Nexus シリーズには以下が標準添付されます。

・前面ラックマウントブラケット 2 個

・背面ラックマウントブラケット 2 個

・スライダレール 2 個

・M4 x 0.7 x 8 mm の皿ネジ 10 個：Cisco Nexus9300 シリーズ

・M4 x 0.7 x 8 mm の皿ネジ 16 個：Cisco Nexus3500 シリーズ

スイッチ本体へのラックマウントブラケットの取り付けは、標準添付の M4 x 0.7 x 8 mm の皿ネジを必ず使用してください。ラックマウントブラケットを使用してラックに搭載する場合、12 個のネジを使用しますが、搭載するラックにより使用できるネジ種別が異なります。事前に、搭載するラックで使用できるネジ種別をご確認の上、

お客様にてネジのご準備をお願いします。

※Cisco Nexus3500 シリーズでは M6 ネジは利用できません。

①HA8000/HA8000V/HA8500 ラックに搭載する場合は次のネジキットの準備をお願いします。

・Cisco Nexus9300 シリーズ：GH-AR7901(HA8000V ラック用ケージナットと M6 ネジ)

・Cisco Nexus3500 シリーズ：GH-AR7902(HA8000V ラック用ケージナットと M5 ネジ)

②EP8000 ラックに搭載する場合は次のネジキットの準備をお願いします。

・Cisco Nexus シリーズ　　：THE-7014-KIT1(EP8000 ラック用クリップナットと M5 ネジ)

（８）ラック搭載上の注意

①ラックにスイッチを搭載する場合は、スイッチの保守作業および通気口の妨げにならないために次のスペースを確保する必要があります。

表 2-3 スペース確保要件

No	スイッチ	排気面
1	Cisco Nexus9300 シリーズ	スイッチの上側に 1U の保守作業スペースを空けて搭載してください。 スイッチの前面の周囲に 114mm 以上のスペースを確保してください。（ケーブル配線に必要） スイッチの背面の周囲に 76mm 以上のスペースを確保してください。（エアーフローに必要）
2	Cisco Nexus3500 シリーズ	スイッチの上側に 1U の保守作業スペースを空けて搭載してください。 スイッチの前面の周囲に 76mm 以上のスペースを確保してください。（ケーブル配線に必要）

②ラックの背面側にポートを背面に向けてスイッチを搭載する場合は、ラックに搭載したほかの機器のエアーフローの影響を考慮して、スイッチの吸気温度が 40°Cを超えないようにしてください。

表 2-4 スイッチ本体のエアーフロー

No	スイッチ	吸気面	排気面
1	Cisco Nexus9300 シリーズ	背面	前面(ポート面)
2	Cisco Nexus3500 シリーズ	背面	前面(ポート面)

③HA8000/HA8000V/HA8500 ラック、EP8000 ラックのフロント扉側に正面向きにスイッチを搭載する場合、フロント扉を閉めることで、通気用のスペースやケーブル曲げ半径の確保が難しいため、フロント扉を使用しないでください。

フロント扉を使用するには、ラックの背面側にポートを背面に向けてスイッチを搭載してください。

④保守サポートへの問い合わせ時には、日立形名と日立製番の情報が必要となります。これらの情報は、機器の上側にある銘板に記載されています。ラック搭載状態によっては、スイッチの上側が見えない場合もあります。そのため、お客様にて管理台帳などを準備して、日立形名、日立製番、およびラックの搭載位置などを管理してください。これにより、保守サポートへの問い合わせがスムーズにできます。

（９）サーバ製品と接続する際の注意事項

本装置と一部のネットワークカードとの接続において、稀に瞬断によるリンクフラップが発生することがあります。この場合、リンク障害を検出してから、実際にリンクダウン判定するまでの時間を指定する「debounce time」の設定値をデフォルト値（100ms）から変更することで、回避できる場合があります。「debounce time」の設定範囲は 0 から 5,000ms ですが、設定時間を長くする場合は、システム設計を十分に考慮した時間を設定してください。

（１０）IOS の脆弱性について

①日々の運用

脆弱性に関する情報は Cisco セキュリティアドバイザリに公開されます。
お客様にて当該サイトから定期的に脆弱性情報を収集し、導入製品への影響確認と
利用形態に応じた回避策の適用をお願いします。
対策版 IOS の適用が必要となる場合は、サポート 360 経由でのご提供となります。
ご不明な点がある場合は、サポート 360 にお問い合わせください。
・Cisco セキュリティアドバイザリ
https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/docs/csa/psirt-index.html

②サポート 360 からの情報発信

スイッチの IOS で重大な脆弱性が発生した場合、サポート 360 でお知らせします。

■通知内容

・対象形名/対象バージョン/対象機能などの情報
・回避策
・対策版バージョンのメディア提供

■脆弱性への対応

通知内容を確認していただき、お客様にて脆弱性該当有無の確認をお願いします。
該当する場合は、お客様にて回避策の適用、または対策版バージョンの適用を
お願いします。
また、代行作業を当社にて実施する場合は有償となります。
依頼する場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

（１１）IOS 新バージョンの通知について

出荷する IOS バージョンが変更された場合、サポート 360 でお知らせします。

■通知内容

・対象形名/新バージョンなどの情報
・新バージョンの不具合対策情報
・新バージョンのメディア提供

■対応

通知内容を確認していただき、お客様にて適用要否の判断をお願いします。

適用する場合は、お客様にて新バージョンの適用をお願いします。
また、代行作業を当社にて実施する場合は有償となります。
依頼する場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

お問い合わせ先

ここでは、ご質問や不具合の内容に応じたお問い合わせ先をご案内しています。

□操作や使いこなしについて

本製品のハードウェアの機能や操作方法に関するお問い合わせは、HCA センター（**Hitachi** カスタマ・アンサ・センター）でご回答いたしますので、次のフリーダイヤルにおかけください。受付担当がお問い合わせ内容を承り、専門エンジニアが折り返し電話でお答えするコールバック方式をとらせていただきます。

HCA センター（Hitachi カスタマ・アンサ・センター）

0120-2580-91

受付時間
9：00 ～ 12：00、13:00 ～ 17:00（土・日・祝日、年末年始、夏期休暇など当社指定休日を除く）

お願い

■ お問い合わせになる際に次の内容をメモし、お伝えください。お問い合わせ内容の確認をスムーズにおこなうため、ご協力をお願いいたします。

形名（TYPE）／製造番号（S/N）／インストール IOS

「形名」および「製造番号」は、装置上面に貼り付けられている機器ラベルにてご確認ください。

■ 質問内容を FAX でお送りいただくこともありますので、ご協力をお願いいたします。

■ HCA センターでお答えできるのは、製品のハードウェアの機能や操作方法などです。ハードウェアや IOS に関する技術支援は除きます。
ハードウェアや IOS の技術的なお問い合わせについては有償サポートサービスにて承ります。
→「技術支援サービスについて」

■ 明らかにハードウェア障害と思われる場合は、販売会社または保守会社にご連絡ください。

□欠品・初期不良・故障について

本製品の納入時の欠品や初期不良および修理に関するお問い合わせは日立コールセンタにご連絡ください。

日立コールセンタ

0120-921-789

受付時間

9:00 ～ 18:00（土・日・祝日、年末年始、夏期休暇など当社指定休日を除く）

お願い

■お電話の際には、製品同梱の保証書をご用意ください。

□ハードウェア障害について

本装置に深刻なエラーが発生したときは、お買い求め先の販売会社または、ご契約の保守会社にご連絡ください。

技術支援サービスをご契約のお客様は、総合サポートサービス「日立サポート 360」の窓口へご連絡ください。
日立サポート 360 をご利用できない場合は、日立システムズ　コールセンタにご連絡ください。

日立システムズ　コールセンタ

0120-147-009

受付時間

24 時間　365 日

□技術支援サービスについて

ハードウェアやソフトウェアの技術的なお問い合わせについては、「技術支援サービス」による有償サポートとなります。

日立サポート 360 との連携によるワンストップ対応

日立サポート 360 との連携によるワンストップ対応では「問題解決の支援」をご提供いたします。
詳細は次の URL で紹介しています。

■ホームページアドレス
http://www.hitachi.co.jp/soft/support360/

インストールや運用時のお問い合わせや問題解決など、システムの円滑な運用のために日立サポート 360 連携サービスは必ずご契約ください。

企業向けネットワーク LAN モデル
（Cisco Nexus 9300/3500）

ユーザーズガイド

第 8 版　2025 年 10 月

無断転載を禁止します。

株式会社 日立製作所

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号